

おぢや市議会 だより

NO. 107

令和 5. 1. 25

編集発行
小千谷市議会

☎ 83-3505

OJIYA CITY ASSEMBLY

- 第4回定例会議決結果… P2
- 常任委員会報告…………… P3
- 行政視察報告…………… P3
- 一般質問…………… P5
- 議会日誌 …………… P9
- 小千谷みらい議会 …… P10
- 雪あかり、編集後記 …… P12

—主な掲載内容—



投稿者：星野司さん（塩谷）
タイトル「豪雪もしばしの休憩」
大雪のあと貴重な晴れ間できれい
だったので撮りました。

令和5年 新年挨拶

議長 本田 剛

あけましておめでとうございませす。市民の皆様におかれましては、健やかな新春を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

日頃より小千谷市議会に深いご理解と温かいご支援、ご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと新型コロナウイルス感染症拡大の為、中止や延期になっておりましたイベントが3年振りに市内各地で開催され、また11月には世界錦鯉サミットが開催、錦鯉と小千谷市の名を世界へPRすることができました。

10月には、議会改革推進委員会の企画により未来の小千谷市を担う市内の中学生26人の参加により「小千谷みらい議会」を開催、小千谷を大切に思い市政に対しての貴重な質問と意見をいただき、今後の小千谷市発展のため協力いただけることを期待し、私共市議会も市民の皆様のご期待に応えるべく議会運営に全力で努めてまいり所存であります。更なるご鞭撻をお願い申し上げます。不安が絶えない世界情勢ですが、本年は笑顔で過ごせることを期待し、皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。そして年頭のご挨拶といたします。

第4回定例会 議決結果 (11月30日から12月22日まで開催)

議案番号等	議 案 名	議決状況	議決結果
条 例	議案第69号 小千谷市教育事務の職務権限の特例に関する条例の制定について	全会一致	原案可決
	議案第70号 小千谷市職員の高齢者部分休業に関する条例の制定について	〃	〃
	議案第71号 小千谷市課設置条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
	議案第72号 小千谷市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
	議案第73号 小千谷市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
	議案第74号 小千谷市長、副市長及び教育長の給与額並びにその支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
	議案第75号 小千谷市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
	議案第76号 小千谷市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
	議案第77号 小千谷市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
議案第97号 小千谷市個人情報保護に関する法律施行条例の制定について	賛成多数	〃	
予 算	議案第68号 専決処分について(令和4年度小千谷市一般会計補正予算(第6号))	全会一致	承認
	議案第78号 令和4年度小千谷市一般会計補正予算(第7号)について	〃	原案可決
	議案第79号 令和4年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	〃	〃
	議案第80号 令和4年度小千谷市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	〃	〃
	議案第81号 令和4年度小千谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	〃	〃
	議案第82号 令和4年度小千谷市ガス事業会計補正予算(第2号)について	賛成多数	〃
	議案第83号 令和4年度小千谷市水道事業会計補正予算(第3号)について	全会一致	〃
	議案第84号 令和4年度小千谷市工業用水道事業会計補正予算(第2号)について	〃	〃
その他	議案第85号 令和4年度小千谷市下水道事業会計補正予算(第2号)について	〃	〃
	議案第86号 契約の締結について(変更)	〃	〃
	議案第87号 小千谷市の公の施設(市民学習センター)の指定管理者の指定について	〃	〃
	議案第88号 魚沼地域特別養護老人ホーム組合からの脱退について	〃	〃
	議案第89号 魚沼地域特別養護老人ホーム組合を組織する地方公共団体の数の減少及び魚沼地域特別養護老人ホーム組合規約の変更について	〃	〃
	議案第90号 魚沼地域特別養護老人ホーム組合を組織する地方公共団体の数の減少及び魚沼地域特別養護老人ホーム組合規約の変更に伴う財産処分について	〃	〃
	議案第91号 字の変更について	〃	〃
	議案第92号 小千谷市監査委員の選任について(山賀一雄議員)	〃	同意
	議案第93号 人権擁護委員候補者の推薦について(樋口敏晴氏)	〃	〃
	議案第94号 人権擁護委員候補者の推薦について(中村節子氏)	〃	〃
	議案第95号 契約の締結について(図書館等複合施設新築(電気設備)工事)	〃	原案可決
	議案第96号 契約の締結について(図書館等複合施設新築(空調設備)工事)	〃	〃
議案第98号 小千谷市の公の施設(地域間交流センター)の指定管理者の指定について	〃	〃	
議案第99号 小千谷市副市長の選任について(山口良信氏)	〃	同意	
議案第100号 小千谷市教育委員会委員の任命について(高野瑞恵氏)	〃	〃	
発 議	発議案第4号 物価上昇に見合う高齢基礎年金等の改善を求める意見書	〃	原案可決
請 願	請願第4号 物価上昇に見合う高齢基礎年金等の改善を求める請願	みなし	採 択

※ 議決状況の「みなし」は、その請願に対応した同趣旨の意見書の発議案が提出され、先に採決したので、その議決結果をもって採択されたものとみなします。

議員賛否の状況 (採決において賛否が分かれたもの)

議案番号等	議決結果	賛 成	反 対	阿 部 守 男	平 澤 智	上 村 行 雄	駒 井 和 彦	大 矢 弘 光	佐 藤 栄 作	森 本 恵 理 子	住 安 康 一	内 山 博 志	吉 崎 進	久 保 田 陽 一	長 谷 川 有 理	山 賀 一 雄	本 田 剛
議案第82号	原案可決	10	2	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	○	○	×	○	—
議案第97号	原案可決	11	1	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	○	○	○	○	—

※ ○は賛成、×は反対、議長(本田剛)は採決に加わりません。

常任委員会報告

総務文教委員会

委員長 森本 恵理子

本委員会に付託されました議案13件につきまして慎重に審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

主な議案の内容

○議案第69号 小千谷市教育事務の職務権限の特例に関する条例の制定について

公民館や図書館等、教育委員会の職務を市長が管理、執行する特例について定めるものです。

○議案第71号 小千谷市課設置条例の一部を改正する条例の制定について

機構改革により令和5年4月から一部の課が改正されるものです。

○議案第78号 令和4年度小千谷市一般会計補正予算(第7号)について

電力高騰による追加補正や難聴者補聴器購入費助成金の追加補正など。

○議案第98号 小千谷市の公の施

設(地域間交流センター)の指定管理者の指定について

令和5年4月から指定管理の指定団体が変更となるものです。

民生産業委員会

委員長 吉崎 進

本委員会に付託されました議案3件並びに請願1件について、慎重に審議した結果、議案についてはすべて可決すべきもの、請願については採択すべきものと決しました。

○議案第79号 令和4年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について

本案は歳入歳出をそれぞれ144万6千円追加するものです。

○議案第80号 令和4年度小千谷市介護保険特別会計補正予算(第2号)について

本案は歳入歳出を59万2千円追加するものです。

○議案第81号 令和4年度小千谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について

本案は歳入歳出を293万円追加するものです。

○請願第4号 物価上昇に見合う老齢基礎年金等の改善を求める請願について

本請願は物価上昇に見合う老齢基礎年金等の支給額の改善を国及び関係行政庁に意見書として提出するものです。

行政視察報告

総務文教委員会

令和4年10月4～5日

国家戦略特区の取組について

秋田県仙北市

当市と同じような人口規模且つ降雪地域ですが、平成27年から国家戦略特区指定(地方創生近未来特区)となりました。近未来技術実証ワンストップセンターを開設し、自動車の自動運転、無人航空機等の実証実験を希望する企業等に対し、フィールドの提供や支援を行っていました。ただ「特区に指定されただけでは何も起きない」という説明どおり、常に動的にメニューを組み立て、実行してくれる民間事業者とともに取り組む必要があるながらも、成功すればそのメニューは全国に展開され、優位性がなくなってしまう難しさをはらんでいました。しかし直面している課題をスピード感をもって解決に導くことができる有効な手段としての可能性を感じました。

学校教育・学力向上の取組について

秋田県能代市

秋田県は全国学力・学習状況調査において常に全国でトップクラスを維持。その中でも能代市は県平均を上回っているため、学力向上の取組を視察目的としました。能代市では、秋田県が推進する探求型授業に加え、地域と学校が一体になるコミュニティスクールや幼児教育・保育アドバイザーの設置など意欲的に教育施策に取り組んでいる姿がありました。「子どもたちに自主性や計画性を習得させる」という目



標を掲げ、「学校では学力を身につけ、家庭では習慣を身につける」という基本的な役割分担を明確にしていきました。保護者、教職員、市教委、県教委が子どもたちのために柔軟性をもって制度設計をし、団結して取り組んでいることが能代市の強みであり、当市においても働きかけを強めていく必要性を感じました。

民生産業委員会

佐渡市における地域医療について

10月13日は厚生連の真野みずほ病院で佐渡総合病院を含む厚生連関係の病院を視察し、説明を受けた。14日は佐渡市役所で両津市民病院等の説明を受けた。

新潟県の医師不足は全国1位であり、佐渡市においても医師不足が深刻である。厚生連小千谷総合病院でも若手の常勤医が少なく、産科医不足も深刻になりつつあり、今後小千谷市内でお産ができなくなる可能性も出てきている。

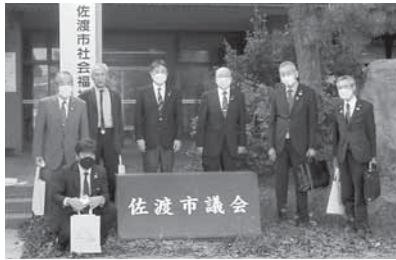
この様な状況で、離島である佐渡市の地域医療はどのようなになっているのかを視察し、小千谷市の

地域医療を守るための参考にできることを探した。

佐渡市の基幹病院は佐渡総合病院であり、産科医は新潟大学の協力により4人が常勤している。麻酔科医は京都近辺から2カ月交代で勤務している。しかし、対応できない重症患者の場合は新潟から往復で1時間かけてへりで移送している。

また、小千谷市と同様、研修医確保のために、新潟県と連携した医学部地域枠の活用を行うことにしている。また、開業医確保のために診療所開設支援として1500万円の補助を行っているが、開業する医師はいないとのことである。

また、佐渡市内では入院を必要としない65歳以上の高齢者が増えてきているので、老健施設の活用が重要となっており「佐渡地域医療・介護・福祉提供体制協議会」を立ち上げ、



病院、老健施設、薬局の役割分担を協議しているとのことである。

いづれにしろ新潟県の医師不足を解消する必要性を強く感じた。それが人口減少の歯止めになる重要なポイントとなることも強く感じた。

議会運営委員会

議会改革推進議論において議会のICT化の必要性が認識されてきた。タブレットが導入された先進議会に学び、小千谷市での導入を見据えた視察を行った。

飯能市では、資源を大切にすることを議会のペーパーレス化や緊急時を含む情報伝達、資料収集などにおける利用等が検討された。タブレット導入の効果は、資料代等の費用の削減で年間約210万円、紙の削減でも年間約10万枚とのこと。それ以外も検討事項の内容を効果的に満たすものと捉えていた。また、端末を会議で使用する基準を設ける必要がある。

タブレットの利用が不得手の人に対する配慮も必要だが、結果的に様々なサポートがあり、問題は無いとのことであった。議会と同

時に行政側も導入した方がよいとの声も伺った。タブレット導入効果は思った以上にある。

取手市にも同様の目的で



視察を行った。取手市の場合、オンラインでの議会も災害や傷病などやむを得ない場合に活用できるルールを作り、参加できる体制を設けたことが特徴。これまで欠席がやむを得ない場合でも議会に参加できる可能性が広がった。

取手市は、採決システムの入れ替えを検討する中で議会のデジタル化も検討。より便利で費用的にも削減できるシステムの構築が見えてきたことで導入。予算書、決算書は基本的にペーパーレス。現場視察のライブ配信を委員会などで活用。導入後の端末活用に不満の声は聞かれない。業務の省力化、迅速化に役立ち執行部と議会同時運用が望ましいと感じた。また、議事録起こしも追加料金で省力化につながるとのこと。

長谷川 有理 議員



人口減少を加速させない豪雪対応

質問 当市の山間地集落は表彰された若栃集落のようにきらりと光る素晴らしい実践している集落が多くしつかり守っていくためにも

当市の県災害救助条例適用基準を旧山古志村や川口町並みにすべき。

答弁 県に対し弾力的な運用を働きかけ、適用基準の見直しを県と研究できるように呼びかけていく。

質問 共助を進める町内会・団体への小型除雪機購入補助金や安全を守る命綱固定アンカー普及促進事業補助金の活用を図るべき。

除雪機補助には長岡市のように保険料・燃料費にも補助を含めたり、命綱固定アンカーは年20件の予算で4件の実績は低すぎる。事業所への事業適用拡大も図るべきでは。

答弁 小型除雪機購入補助に保険料補助は考えていない。命綱固定アンカーは住宅の居住者に普及を促し安全な雪下ろし対策を進める。

質問 オペレーターの高齢化、異常降雪による短期集中の除雪対策など課題がある中、今後まとめられる市の克雪方針の方向性は。

答弁 地域安全克雪方針を定め将来の除雪支援体制の構築を進める。

第8波で疲弊しない地域支援対策

質問 エッセンシャルワーカーの離職を防ぎ、モチベーションを保つための支援を行うべき。

答弁 感染を防ぐため協力いただいたことに感謝を申し上げる。

質問 プレミアム商品券等が完売出来ていない。全ての市民に届く事業とすべき改善点はないのか。

答弁 第4弾のプレミアム商品券は販売率86・6%だった。一定の経済効果はあったと考えている。

今後の小千谷市の医療体制

質問 小千谷総合病院は夜間・休日の救急受け入れ出来る・出来ないのでの差がつく「救急拠点型」「地域密着型」のどちらになるのか。

答弁 今後、県の地域医療構想調整会議の議論の中で明らかになる。

質問 産科を維持していく方法は。

答弁 出産数が維持されること。他診療科含め体制の維持に必要な支援について研究していきたい。

平澤 智 議員



サウンディング型市場調査

質問 認知度について。

答弁 今年度は4件実施、図書館等複合施設において「カフェ運営」には8者、「情報環境実装」には12者で広報、HP、新聞等で周知。

質問 他の調査との違いについて。

答弁 同調査は将来の事業化に向けて論点を示したうえで、対話を通じて市場性や、事業の価値、実現性、公募条件を探るもの。

質問 これまでの結果と計画への反映実績について。

答弁 結果についてはHPで常に公表、今後予定している公募型プロジェクトに向けて事業者公募の条件等に反映。

質問 今後の計画について。

答弁 これまでの周知方法に加え全国各地の官民連携事業等を取り扱うポータルサイトやSNSの活用などにより、広く周知していきたい。

Ojjiya web career (オヂヤウエブキャリア)

質問 参加企業の募集方法と状況について。

答弁 当市がオンラインによる就活イベントを開催した際に参加した企業の紹介等の為に立ち上げた就労応援サイトで、就活イベントに参加した企業に対して、直接アプローチして掲載を依頼している。他、様々な就活イベントに積極的に参加いただいている企業にアプローチし、掲載企業の増加に努めている。

質問 これまでの状況、インターンシップの結果について。

答弁 8月にインターンシップ夏の陣を開催。参加学生は11名。参加者からは好評であったが、参加人数の増加が望まれた。

質問 サイト運営の諸問題とHP以外での情報発信について

答弁 現在は市HPバナー、就労支援アプリでの紹介記事などでPRしているが、他HPでのバナー掲載を検討、インスタグラム等を活用しサイトの認知度を上げ、サイトに誘導することによって就労支援情報の発信に努める。

市政の内容を聞く

一般質問

上村 行雄 議員



小千谷市の観光ビジョンについて

質問 錦鯉をフックとした物や人の交流についてどのように推進していくのか。

答弁 先日開催された「クールジャパン EXPO in NII GATA」において、市内事業者が実行委員会を組織し「錦鯉の聖地展」が展開されたが、この取組により錦鯉をキーワードに小千谷産品を全国や世界に発信し注目を集めた。この流れを踏まえ、民間で新技術・新商品の開発や販路拡大などに対し支援してまいりたい。そして民間との対話を増やし、PRをしていただくことで地域経済に波及していくものと考ええる。

質問 観光協会の法人化や将来的にはDMOの導入について。

答弁 法人化を検討する際には、現在の理事会及び評議員会において、どのような役割を担っていくべきかを検証し、組織再編を考

ていたいただきたい。DMOを含む法人化の方針が出た場合は、当市のほか商工会議所及び産業関係者など、それぞれの持ち味を活かした役割分担も可能と考えますので、連携した支援なども検討したい。

租税教育について

質問 当市として租税教育をどの様に捉え進めるのか、また進めていくのか。

教育長答弁 子どもたちが税について正しく理解し、将来社会の一員としての義務を果たしていくこととはとても大切です。学校の授業において、小学校6年生では「税金のはたらき」について、中学校3年生では「税金を納めること」について学習しております。租税教室では、身近な例を取り上げながら、税金が具体的にどう使われているのか、自分たちの生活にどう活かされているのかを学んでおります。また、学校現場の先生方からは公平・公正な税の徴収のあり方について、子どもたちが考える大きなきっかけになっていると伺っております。

吉崎 進 議員



新潟県との連携について

質問 来年4月の県議選まで県議がない。昨日からの降雪のように近年の降雪は異常降雪である。このような時に国道、県道は県管理となり、市では対処しにくくなる。市長は今までの県議としての実績を生かし、来年の県議誕生まで滞りなく県との連携を取り、市政を推し進めていけるのか。

答弁 市議4年、県議約12年務めさせていただく中で、市政と県政を肌で感じ、深くかかわってきた。そして、知事をはじめ県の各部署との間で、また、国との関係においても、しっかりと協力・連携できる信頼関係を築いてくることできた。今後も、このネットワークを十分に活かしていくとともに、さらに強固なものにするよう努めていく。

中学校の部活の地域移行について

質問 学校は生徒を中心に考える必要がある。その中で、平日は学校の教員が指導し、休日は外部の指導者が指導する場合、生徒の戸惑いはないのか。

教育長答弁 平日と土日の指導者が変わることに伴う指導法や言い方の違いで、生徒が戸惑いや不安を感じることはありえると捉えている。部活の地域移行を進める場合、あくまで生徒中心に取り組むことが大切である。従って、指導者同士の円滑な情報共有と連携が必要となる。

質問 中学校の顧問と外部顧問の連携をどのように取るか。

教育長答弁 地域の指導者に対して、地域活動の基本的な方針・生徒指導上の問題に対する対応・安全管理等について研修会を実施する。また、土日の活動において生徒や指導者が戸惑うことが起きた場合には、部活動顧問に、いつでも相談できる体制を整えるよう周知していく。

部活動の地域移行は、生徒のための新しい制度づくりである。さまざまな困難はあるかと思うが、一つ一つ課題を解決していく。

駒井 和彦 議員



山本山の更なる整備について

質問 選挙期間において市長が語った山本山を更に磨くについて。

答弁 美しい山河に囲まれ、文化の香り豊かな当市は、市民の誇りであり、更にシビックプライドの醸成を高めていく為の手段のひとつとして、市民の心の拠り所となる様、山本山を磨いていく必要がある。山本山で何が出来るのかを皆で意見を出し合い、行政で出来るものと民間で出来るものを揃えながら「守るべき事」「やるべき事」を整理した上で、観光振興や地域経済の活性化に繋げる為の可能性を探っていききたい。

質問 山本山の具体的な整備について。

答弁 鉄杭撤去は現地精査の上、必要性を検討後、存置、撤去しているが、現在、山本山育成牧場条例廃止の検討を進めており、牧場事業に係る既存施設の撤去や処分

の検討を行う中でも検討する。ひまわりや菜の花畑のエリア拡大、駐車場整備については、諸々の課題を克服しながら、実施出来る所から事業化していきたい。山頂休憩所とその付近の整備については、

県立自然公園でもある事から、自然と共存できる整備を研究する。下牧区を新たにキャンパスサイトとして、について現時点で考えはないが、今後の誘客増に繋げる為、景観づくり等研究していく。ポケットパークのゴミ問題については、ゴミ箱、灰皿、監視カメラの設置は考えていないが、啓発の在り方を研究する。ゴミのポイ捨て禁止条例制定については、制定近隣市町村の情報収集し検討する。

質問 ふるさと納税等について。

答弁 今年度は推進に向け、中堅若手職員によるタスクフォースを設置、10億円を目標に政策立案を行った。その成果を見極めた上で、推進の設置等、次を検討したい。今後とも納税増加傾向が続くと予測し、具体的な数値目標を意識し、良質の取組事例等情報収集し、市独自の工夫も考えながら努力する。

質問 今年度は推進に向け、中堅若手職員によるタスクフォースを設置、10億円を目標に政策立案を行った。その成果を見極めた上で、推進の設置等、次を検討したい。今後とも納税増加傾向が続くと予測し、具体的な数値目標を意識し、良質の取組事例等情報収集し、市独自の工夫も考えながら努力する。

森本 恵理子 議員



茶郷川改修事業について

質問 市長という立場で今後、どのような関わり方をするのか、方針と対策について伺う。

答弁 本市の喫緊の課題であり、立場が変わっても国や県、関係機関、団体の皆様と緊密な連携のもと、丁寧に協議を進めていきたい。子育て環境について

質問 当市の小さい子どもを育てている保護者の悩みの一つが子どもを遊ばせる場所が少ないこと。新規に屋内、屋外ともに安全性に配慮された冬でも子どもたちが思い切り遊べる施設が必要では。

答弁 新図書館等複合施設内に設置される屋内広場に期待している。

質問 後天的聴覚障害の要因となるおたふく風邪。高額な費用が接種を妨げている。同じ任意接種のインフルエンザワクチンの助成も始まったが、おたふく風邪ワクチンにも助成が必要では。

答弁 おたふく風邪ワクチンは任意接種のため、勧奨を行い、接種後に健康被害が生じた場合、責任の所在が不明確となる恐れがあり、慎重な対応が必要。国の混合ワクチンの定期接種化を見守る。

質問 図書館等複合施設開館に向けて膨大な量があり、整理作業やデジタル化の量も大量となるが、今の時代にデジタルアーカイブの作成は大変重要と考える。認識と人材投入、職員雇用について伺う。

教育長答弁 データ作成職員、資料整理作業員の雇用を予定。

質問 国魚となった錦鯉。県営または国営施設といった視点をもちながら錦鯉の里のリニューアルが必要と考えるが見解を伺う。

答弁 施設整備にあたっては一定の投資効果による回収も見込まなければならぬ。大きく素晴らしい施設をイメージすることは、係る経費も大きくなる場合も想定される。国や県に訴えながら事業化を目指すことも重要であり、財政的な裏付けも踏まえた長期的視点により、引き続き研究していく。

質問 おたふく風邪ワクチンは任意接種のため、勧奨を行い、接種後に健康被害が生じた場合、責任の所在が不明確となる恐れがあり、慎重な対応が必要。国の混合ワクチンの定期接種化を見守る。

市政の内容を聞く

一般質問

住安 康一 議員



宮崎新市長の目指す今後の小千谷について

質問 出産祝い金について伺う。

答弁 国の新たなスキームと交付金の活用により、妊娠時における出産準備金と出産後のお祝い金を支給したい。

質問 市長は学童クラブ利用料の減額を訴えたが、減額というよりは子育て世帯の経済的負担軽減のために無料にしてはどうか。

答弁 現行の放課児童健全育成事業補助金に加え、新たに約2500万円の経費が必要。財源について、見極めたい。多子世帯に対する軽減措置は先行して検討する。

質問 幼児の中で0歳から2歳児の支援が手薄になっている。幼児教育・保育の無償化を推進するためにも、保育料の補助を市の単独事業として行うべきではないか。

答弁 保育料を無償化した場合、年間約8500万円の新たな事業

費が必要。現時点では直ちに補助を行うことは困難と考える。

質問 子育てしやすい環境のためにも、当市において子ども医療費の一部自己負担を廃止すべき。

答弁 新たに2500万円ほどの財源が必要となる。令和5年度予算編成においてその財源を見極めるが、現段階においては、実施に向け積極的に検討する。

質問 塾料金は大きな負担となっている。子育て世帯の経済的負担軽減のために、塾料金の補助をすべきと考えるが。

答弁 経済的な理由により学習環境が整っていない家庭に対し、「子どもの学習・生活支援事業」を実施している。塾料金の補助については官民一体となった取り組みの可能性なども含め、研究する。

質問 井戸の掘削や電気量に対し30%の補助を行っている。少人数の組合への支援としては、特例としての補助率の検討も必要ではないか。また、未認定道路の除雪費の補助要件も検討が必要だ。

答弁 担当課に対応を検討させている。財源を見極め、市長としてより慎重に判断する。

久保田陽一 議員



錦鯉を活用した地域経済活性化

質問 市長として具体的な施策とどのような成果を上げていくのか。

答弁 世界錦鯉サミット参加各国との交流を深め、販路拡大と愛好者の増加につながるよう錦鯉関係者と連携していきたい。また、錦鯉が国の輸出重点品目に追加され、国による生産者支援としてJAS規格等を組み込んだ品質のデータバンク化による国産錦鯉のブランド力の維持強化が図られ一層の輸出拡大に期待する。こうした動きを当市の産業振興や観光振興につなげるため、「錦鯉の聖地展」の新たな展開のほか、錦鯉を活用した起業・創業や他地域との交流活動を支援していきたい。

質問 小千谷産の錦鯉を放流し、様々な自治体や団体と交流すべき。

答弁 世界錦鯉サミット参加国の大使館から錦鯉放流の話をいただいている。今後は関係団体の御理

解と御協力、加えて錦鯉の生育環境が整っていることなどの条件を考慮し、錦鯉放流をきっかけとした他自治体等との交流を今後も継続して進めたい。

眠育(睡眠教育)について

質問 眠育についての市長、教育長の見解は。

答弁 睡眠不足は生活習慣の乱れにつながるから、健康に大きな影響を与えることから、睡眠についての正しい知識や習慣を身に付けることは健康な生活を送る上で大切であると認識している。

教育長答弁 重要であると考える。

質問 眠育事業を健康未来こども課と学校教育課が連携して検討、実施すべき。

答弁 「食べて、動いて、よく寝よう!」を掲げ、子どもたちが健康やかに成長できるように、睡眠のみならず健全な生活習慣の形成に向けた取り組みを充実させたい。

教育長答弁 令和5年度の機構改革により、保育と教育を教育委員会が一元化して取り組む予定。眠育についてはその重要性を鑑み、より一体的に取り組み、基本的な生活習慣の確立に努めていく。

内山 博志 議員



子ども医療費無償化に足を踏み出すべき

質問 市長公約の子育て支援の具体化として18才までの子供の医療費無償化に足を踏み出すべき。

答弁 令和5年度実施に向け、積極的に検討する。

質問 義務教育は無償とする憲法第26条にもとづき小・中学、総合支援学校の給食費の無償化をめざすべきではないか。

教育長答弁 就学援助世帯は無償となっている。市内全学校を無償とするには令和3年度約1億7千万円かかった。毎年予算の確保が課題だ。給食費の無償化は国の段階できちんと議論すべきと受け止めている。

高齢者の移動手段について

質問 今年道交法が変わり、免許の更新が出来ない高齢者が増えることが予想される。高齢者の移動をどう確保するかが課題だ。バス

など利用できない方には、タクシー券などの発行も再度考えるべき。

答弁 高齢者の移動手段の検討は必要と捉え、検討している。現状把握の調査をもとに新たな移動手段の確保について取り組みを進めている。現段階では、直ちにタクシー券の交付は困難だが、効果的な対策を検討していきたい。出来るだけ公共交通の利用をしていただき、身体機能維持や、介護予防の充実に取り組んでいく。

介護事業所等への支援について

質問 在宅介護を支えるのにホームヘルプサービス、ショートステイは欠かせない。コロナ対策経費や人員不足などで事業休止、廃止が増えている。市として実効性ある支援が必要ではないか。来年の介護保険改定に負担増が懸念される。負担軽減、充実等求め国にも意見を上げる必要があると考えるが。

答弁 資格取得補助、負担軽減制度など国、県の制度周知に努める。介護保険改定にむけ、今後必要に応じて市長会と連携し、要望する場合もあり得る。

議会日誌

10月～12月

〈10月〉

1日 杉並区区制施行九十周年記念式典

3日 広聴広報委員会

4日 総務文教委員会行政視察に出発(秋田県仙北市、能代市)

7日 小千谷みらい議会開催

12日 広聴広報委員会

13日 民生産業委員会行政視察に出発(新潟県佐渡市)

17日 青森県平川市議会行政視察に来市

20日 議会改革推進委員会

26日 熊本県阿蘇市議会行政視察に来市

〃 議会運営委員会行政視察に出発(埼玉県飯能市、茨城県取手市)

〈11月〉

1日 民生産業委員協議会

3日 東山小学校創立二十周年記念式典

4日 県議長会合同議員研修会(長岡市)

5日 小千谷高等学校創立百二十周年記念式典

6日 小千谷市長選挙告示

8日 中越地区市議会議長会(魚沼市)

9日 会派代表者会議

13日 小千谷市長選挙投票日

14日 埼玉県小川町議会行政視察に来市

15日 中越地区市議会議長会合同議員研修会(湯沢町)

17日 長野県山ノ内町議会行政視察に来市

〃 議会改革推進委員会

19日 南小学校創立十周年記念式典

21日 全国市議会議長会国会対策委員会(東京都)

22日 議会運営委員会

30日 第4回定例会(本会議)

〃 議員全員協議会

〃 議員クラブ会

〃 広聴広報委員会

2日 常任委員会連合審査会

5日 総務文教委員会

6日 民生産業委員会

19日 議会運営委員会

〃 本会議(第2日)

20日 議会運営委員会

〃 本会議(第3日)

22日 議会運営委員会

〃 本会議(第4日)

〃 総務文教委員会

〃 広聴広報委員会

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

小千谷みらい議会

10月7日 市内5つの中学校の生徒代表が市政について質問しました。



小千谷中学校

質問項目

Aグループ

公共交通の利便性向上について
● 下校や退勤時間に合わせて便数を増加しては。

● 昼の便数を減らし、高齢者にタクシー券を配布しては。

● 企業に協力していただき、事前調査を行い、便数を増加しては。

Bグループ

白山運動公園について

● オールウェザートラックを作り、陸上競技の強化に繋げては。

● 全天候型屋根付き運動場を作っては。

● 宿泊施設としてちぢみの里を増設したら温泉も入れるのでは。

参加しての感想

● 原稿作成の過程はこんなにも大変なのだと感じた。

● 小千谷のことについて学べた。

● みらい議会を経験して、議会の進み方を知ることができて、勉強になった。

● 中学生ならではの意見が多く、面白かった。良い経験ができたので、次はもっと多くの人が参加できたらいいと思った。

東小千谷中学校

質問項目

① 小千谷駅前前の活用による魅力発信について。

② 小千谷の除雪について。
参加しての感想

● 新たな気づきを得る良い機会になりました。後半から議長（副議長）をしました。議長はより一層緊張感が高まり自然と背筋が伸びました。緊張感のある中でもスムーズに進めることができて良かったです。

● 小千谷市のことを深く考えてみると、良い点も課題もたくさんあることが分かりました。逆に課題を克服することができれば小千谷市はより良い市になることが出来ると思えました。近い将来、自分も小千谷市を盛り上げていける人間になりたいと思えました。

● 議会本番、とても緊張していましたが、議員さんたちが温かくむかえてくれたことや、参加している全員から小千谷をより良くしたいという気持ちが伝わってきて、緊張よりも楽しんで議会に参加することができたので良かったです。

千田中学校

質問項目

① 市の道路の危険個所の修繕について。

② 小千谷の美しい自然について。
参加しての感想

● 厳粛な雰囲気の中で、話や挙手をしたりする経験ができて良かった。自分が改めて小千谷について考える良い機会だったし、他の学校の人がどのように考えているのか知ることができて良かった。

● 今までよく考えたことがなかった小千谷市の良い点や悪い点、その改善点を考えることができて良かった。また、本当のような議会の雰囲気を感じることができてすごくいい経験でした。

● 議員さんや仲間達と小千谷の課題について話し合う中で、想像していたよりも多く小千谷の課題を発見しました。これからも小千谷市民として暮らしていく上で、小千谷についてよく知ることができるといい機会でした。

● 大勢の人の前で話すことが苦手だったのでとても緊張しましたが、この経験を今後の活動に活かせるように日々頑張りたいです。

南 中 学 校

質問項目

●小千谷市内の中学校の統合について

参加しての感想

○今の小千谷市の実態を再度、確認する事が出来た。其々の地域で抱えている悩みは全く異なり興味深かった。また、自分自身が登壇し質問するという、貴重な経験が出来、とても嬉しく、この経験を活かし今までより小千谷市について深く考え課題を解決する為、小さな事から取り組んでいきたい。

○各学校によって違った課題について質問していて、小千谷市でもこんなに沢山の課題が出てくるので、それらを一つ一つ解決していく方々は地域の事を考えていて、本当に凄いと思った。

○同じ小千谷市民でも、学校区が変わるだけでも抱える悩みが変わるのかと、とても興味深かった。全ての問題を直ぐに解決する事は難しいが、小千谷市がこれから良くなるよう、私なりに何か出来る事はないか探してみたい。

○小千谷市には多くの課題がある

と再実感。課題に真面目に向き合い、疑問に思った事を質問出来た。他の学校の様々な課題への真剣な取り組みも、とても素晴らしかった。

片貝 中 学 校

質問項目

●日常の買い物にはスーパーやコンビニエンスストアが増えるると便利です。なるべくスーパーやコンビニエンスストアが増えるようにするために小千谷市ができることはありますか。

●小千谷市の働く場の創出や市外からの買い物客の増大が見込める大型ショッピングモールから小千谷市に出店してもらうにはどうしたら良いとお考えですか。

●小千谷市内の会社が有名になって売上を伸ばすために、小千谷市としてどんなことをしていますか。

参加しての感想

○みらい議会当日、とても緊張しましたが議員の皆さんが場を和ませてくれて本番はしっかり話すことができました。議会の中で考えや思いをしっかりと伝えたり、質

問したりすることが街づくりにつながっているのだと感じました。

○今後、この経験を生かしてもと小千谷や片貝のためになるようにしていきたいと思いました。



小千谷みらい議会を終えての学校から寄せられた感想と意見等

議会傍聴があつてよい体験が出来た。地方議会の制度やどのように進められているのかが地元議員の活動などに触れることで実際に学ぶことが出来た。参加生徒の達成感が感じ取られた。自らが暮らす小千谷市への関心と意識が高まった。課題・改善点として小千谷みらい議会開催時期、出前授業などの日程など授業進度と合わせることが難しいが議員から直接学ぶ意義、効果は高い。方法、内容を検討して継続する。質問書の作成に直接指導はよかった。みらい議会開催にあつての教職員の負担軽減が必要。議会傍聴は学習効果が高い。継続してよいのではないかと。生徒議員の発言はしっかり出来ていた。将来を考える意欲を高めることにつながる取り組み。みらい議会については、準備、生徒の成長、主権者教育として概ね好評。時間調整、連絡調整などの改善点はある等の声に参加した学校から寄せられた。議員の改選期があるのでそれも考慮して検討したい。

市議会だよりをアプリで配信中



スマートフォンやタブレット端末で使える無料アプリ「マチイロ」で配信中です。ぜひご利用ください。

Android用



iPhone用



市議会を傍聴してみませんか

第1回定例会開催予定

2月27日(月) 第1日	議案上程説明
2月28日(火)～3月7日(火)	各常任委員会で審査
3月16日(木) 第2日	一般質問
3月17日(金) 予備日	一般質問 (質問者が多い場合に開催)
3月22日(水) 最終日	委員長報告、採決

※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、団体での議会傍聴については議会事務局（TEL83-3505）へお問い合わせください。委員会の傍聴については、あらかじめ議会事務局へお申し出ください。

本会議をインターネット中継しています

市議会ホームページからインターネットライブ中継でご覧いただけます。本会議当日のライブ中継のほか、本会議終了後概ね1週間後には、録画映像も配信しています。市政への一般質問で各議員の顔写真の下に二次元コードを掲載しています。スマートフォンやタブレット端末で読み取ると、各議員の一般質問の録画中継をご覧いただけます。また、会議録も市議会ホームページで閲覧できます。（令和4年第4回定例会の会議録掲載は、2月末頃となります。）

URL <https://www.city.ojiya.niigata.jp/site/gikai/>

小千谷市議会

検索

岩沢に住み始めて、地域の祭り、子供関係からランニングクラブ、スキークラブ、学童野球から高校野球、消防団、地域団体岩沢アチコタネーゼ、岩爽サイクリングなど脇役として微力ながら活動してきました。新参者として地域のコミュニケーションの大切さと楽しさを勉強しております。長男に続き次男も県外の大



荻野 純大

(岩沢 市ノ口)



学に入學し、小千谷を離れた事を機に空いた時間と体力を使い、岩沢アチコタネーゼの雪下ろし協力隊に本格的に参加しております。今年は新しいスノーダンプを購入し、気力と体力の続く限り活動しようと思気込んでいます。作業中の地域の方との他愛もない会話や、高齢者の住宅を雪下ろしした後の御礼の言葉をいただける、また頑張ろうという気持ちになれます。夏場は2年前から岩沢駅前通りにて朝市を始めました。コロナ禍のコミュニケーションの場として、地元野菜や鮮魚販売、惣菜、生麺販売等、朝市を通じて地域の方と繋がる良い場となりました。今後は、岩沢に携わりながら、スキーを楽しみたいと思っております。中学校から社会人までスキージャンプの選手、その後は市民スキー大会から全国スキー大会の役員、最近スキージャンプの飛型審判を取得しスキー競技の裏方をしています。また、テレマックススキー、バックカントリースも趣味で冬期間を雪下ろしから山スキーまで満喫しています。雪国ならではの楽しみ方を子供や周りにも伝える活動をしていきたいと考えております。

編集後記

あけましておめでとうございませす。本年が市民の皆様にとりまして幸多き一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

さて、今定例会は宮崎新市長となり初めての議会となりました。選挙の際に掲げた政策がどのように市政に反映されていくのか、小千谷市活性化のためにも大変期待するところです。会期中には豪雪災害が発生し、自衛隊が派遣されることとなったため、議会を休会とし、市・議会ともに災害対応に集中することと致しました。また新型コロナウイルスも依然終息せず、広がりを見せています。まだまだ予断を許さない状況ではありますが、一人一人が基本的な予防策を講じながら、過剰に悲観的になることなく、前向きに日々を楽しんでいく段階に入っていると感じています。

定例会最終日には新しい副市長も決まりました。この4月には県議会議員選挙、市議会議員選挙もあります。新しい小千谷市の幕開けが希望に満ちたものとなりますよう心から祈念致します。

編集委員 森本恵理子